

病院ボランティア活動の心得

岡山県精神科医療センター

◆病院ボランティアとは

当院では患者さんに、医療とは違った立場から、少しでも心のやすらぎを得ていただける環境づくりができればと思っています。

そうした環境作りを担う、思いやりとやさしい気持ちで援助していただく活動です。

病院は、患者さんやその家族の方など大勢の人が集まる特殊な場所です。

従って、他のボランティア活動とは異なる様々な制約がありますので、次のような事柄についてご留意下さるようお願いいたします。

○服装について

- (1) 清潔で動きやすい被服の上に、ボランティア用名札を胸につける
- (2) 靴はかかとの低い、音のしないものを履く
- (3) 髪はきちんとまとめる
- (4) 爪は短くし、香水、化粧、アクセサリー、マニキュア等は控えめにする

○患者さんへの接し方について

- (1) 患者さんのプライバシーに配慮し、ボランティア活動中に知り得た情報は他言しない
- (2) 常に患者さんには公平に接し、特定の患者さんと個人的に親しくならない
- (3) 患者さんから病気、薬、その他院内のことについて聞かれた場合には、自分の判断で答えず、「ボランティア」であることを伝え、看護師など医療従事者に連絡する
- (4) ボランティア同士の活動中の私語は慎み、患者さんに対して無責任な対応や、気持ちを不安にさせる対話はしない
- (5) 常に笑顔と明るい態度を心がけ、丁寧な言葉づかいで接する

○活動について

- (1) ボランティア活動保険に加入すること（保険料は病院負担です）
- (2) 活動に要する費用は自己負担
- (3) 活動にあたっては、開始時刻、退出時刻、活動内容、連絡事項など活動場所の責任者に報告する
- (4) 具体的な活動については、職員と相談の上行動する

○その他

- (1) 患者さんの安全を図り、常に事故防止に努める
- (2) 活動の前後の手洗い、うがい等を励行し、自分自身の健康に十分気をつける
- (3) 自分の体調が悪い時は、患者さんに接しない
- (4) 患者さんに対して、病気に関すること、特に迷信的な話をしない
- (5) 走る、大声で話すことは慎む